

めぐみイエス・キリスト教会

2023年10月8日(日)第二主日礼拝

午前10時より

週報「通算第677号」



2023年標題聖句

第Iヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌45「十字架の血に」 p. 64

【交読文】 No.35 詩篇第110篇 p. 907

【賛美Ⅱ】 新聖歌458「光の高地に」 p. 734

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「ラザロ」

【聖書朗読】 ルカの福音書2章21節～24節(新約p. 111上段)

【礼拝説教】 《主イエス・キリストの割礼とは?》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(ルカの福音書2章21節～24節)

2:21 八日が満ちて幼子に割礼を施す日となり、幼子の名はイエスとつけられた。胎内に宿る前に御使いがつけた名である。

2:22 そして、モーセの律法による彼らのきよめの期間が満ちたとき、両親は幼子をエルサレムに連れて行った。

2:23 それは、主の律法に「最初に胎を開く男子はみな、主のために聖別された者と呼ばれる」と書いてあるとおり、幼子を主に献げるためであった。

2:24 また、主の律法に「山鳩一つがい、あるいは家鳩のひな二羽」と言われていることにしたがって、いけにえを献げるためであった。

●ポイント1.「モーセの律法によるきよめの期間」とは？

※レビ記12章2節～3節・6節・8節「汚れの清めと捧げ物」(旧約p.196)

12:2 「イスラエルの子らに告げよ。女が身重になり、男の子を産んだとき、その女は七日の間汚れ、月のさわりの不浄の期間と同じように汚れる。

12:3 八日目には、その子の包皮の肉に割礼を施す。」

12:6 彼女のきよめの期間が満ちたら、息子の場合であっても娘の場合であっても、全焼のささげ物として一歳の子羊一匹と、罪のきよめのささげ物として家鳩のひなか山鳩を一羽、会見の天幕の入り口にいる祭司のところに持って行く。

12:8 しかし、もし彼女に羊を買う余裕がなければ、二羽の山鳩か、二羽の家鳩のひなを取り、一羽は全焼のささげ物、もう一羽は罪のきよめのささげ物とする。祭司は彼女のために宥めを行ない、彼女はきよくなる。」

●ポイント2.「最初に胎を開く男子」とは？

※出エジプト13章1節～2節「モーセに告げた主の言葉」(旧約p.121)

13:1 主はモーセに告げられた。

13:2 「イスラエルの子らの間で最初に胎を開く長子はみな、人であれ家畜であれ、私のために聖別せよ。それは、私のものである。」

●ポイント3.「主イエスの割礼の意味」とは？

※イザヤ書53章4節前半「悲しみのメシア預言から」(旧約p.1259)

53:4 まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。

※ヨハネの福音書1章11節「使徒ヨハネの言葉」(新約p.175)

1:11 この方はご自分の所に来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。

◎先週の礼拝メッセージ【クリスマスの本当の意味とは？】

《クリスマスの本当の意味をもう一度、共に考えて見たいと思います。

紀元前7年、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストゥスから出ました。人々はみな登録の為に、それぞれ自分の町に帰って行きました。ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行きました。身重になっていた、婚約者の妻マリアと共に登録する為です。ベツレヘムとは、エルサレムの南8キロにある村で、ダビデがサムエルから王の油注ぎを受けた所です。預言者ミカは、メシアがベツレヘムから生まれることを、紀元前700年に預言しています。

さて、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、男子の初子を産みました。宿の女将さんたちが、マリアのお産を手助けしたと思われれます。それと同じ頃に、ベツレヘムの郊外において、羊の番をしていた羊飼いたちに、御使いが現われ、良き知らせを告げ知らせます。「恐れることはありません。見なさい。今日ダビデの町であなたがたの為に救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけてます。」

「さあ、ベツレヘムまで行って、この出来事を見届けて来よう。」

羊飼いたちは、飼葉桶にすやすやと眠っている主イエスの所にやって来ました。そして、まず彼らが行なったことは、その場にひざまずいて、主イエスを礼拝することであったのです。クリスマスとは、主イエス・キリストを心から礼拝することなのです。このお方が、今から二千年ほど前にお生まれになられたことを、もう一度改めて思い起こし、礼拝するべき特別な日なのです。なぜなら、私たちの罪の身代わりとして、十字架に掛けられ死ぬ為に、そして三日目によみがえる為に、神のひとり子が、この世界に私たちと同じ人となって来て下さったのです。それがクリスマスです。クリスマスの本当の意味なのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、10月15日(日)です。通常通り行ないます。